

News Letter

ニュースレター

活動報告

2022.9 — 2023.3

2022.10.27

託児室せんたんで学内 家族交流会を実施

留学生・外国人研究者とご家族の交流会を「託児室せんたん」にて開催しました。



2022.11.4~25

セミナーシリーズ

「ジェンダーがわかると科学は広がる!」を開催

デジタルグリーンイノベーションセンターと男女共同参画室は、国際基督教大学の高松香奈氏に監修を依頼し、共同企画セミナーシリーズ「ジェンダーがわかると科学は広がる!」を2022年11月4日、11日、18日、25日の4回にわたって開催し、学外からの参加者も含め44名の出席者がありました。

第1回 科学技術とジェンダー(講師:高松香奈氏(国際基督教大))、第2回 ジェンダード・イノベーション(講師:佐々木成江氏(お茶の水女子大))、第3回 技術者教育とジェンダー(講師:斎藤明日美氏(特定非営利活動法人Waffle))のそれぞれのご講演、そして、第4回は、外部講師陣と塩崎学長、井上美智子 情報科学領域長、上久保裕生 物質創成科学領域教授によるパネルディスカッションが行われました。12月には当セミナーシリーズのアーカイブを公開しました(学内者限定)。

<https://library.naist.jp/opac/book/104314>



2022.11.19

地域向けオープンキャンパスで

親子スペース設置&教職員向け一時託児を実施

小さなお子さま連れの方が授乳・おむつ替えのできるスペースを大学会館1階に設置しました。各研究領域棟の各トイレ内にベビーチェアやベビーシートがあることの内版も設置しました。学内の一時託児室にて、教職員向けの無料託児も実施しました。



Contents

■ 活動報告

託児室せんたんで学内家族交流会を実施
セミナーシリーズ「ジェンダーがわかると科学は広がる!」を開催
VOC2023女性休憩室の見学会を開催
関西圏女子大学発・産学連携ダイバーシティ推進ネットワーク会議にて本学取組の紹介

■ Information

本学のダイバーシティ方針「共創コミュニティ宣言」アクションプランへのご意見募集
「共創コミュニティ宣言」アクションプラン 構内トイレに生理用品の配置

■ インタビュー「All are different, and all are great!」

vol.1 情報科学領域 M1 大羽未悠さん
vol.2 バイオサイエンス領域 D1 花井悠真さん
vol.3 物質創成科学領域 D1 Nimatil Mabarrohさん

2023.2.25

受験生向けオープンキャンパス2023にて 女性休憩室の見学会を開催

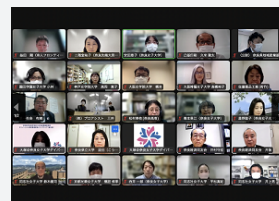


各領域棟の女性休憩室の見学会を行い、学内の一時託児室にて、教職員向けの無料託児も実施しました。

2022.12.1

関西圏女子大学発・産学連携ダイバーシティ推進ネットワーク会議にて 本学取組の紹介

奈良女子大学ダイバーシティ推進センター主催の関西圏女子大学発・産学連携ダイバーシティ推進ネットワーク会議に参加し、本学の取組紹介を行いました。



INFORMATION

本学のダイバーシティ方針「共創コミュニティ宣言」 アクションプランへのご意見募集中

「共創コミュニティ宣言」(2022年4月公表)のアクションプランについて、NAIST構成員の皆さまからのご意見を募集しています。右記のフォームより投稿をお願いします。

<https://oni.sc/MT5V4k4u>



これまでに寄せられた意見は、一般入試での性別クォータ制の導入検討、宗教の多様性に関するセミナーの実施、礼拝のための施設予約の簡素化と各棟への礼拝施設の設置、礼拝の妨げにならないような講義スケジュールの改善などです。

「共創コミュニティ宣言」アクションプラン 構内トイレに生理用品の配置

2022年9月より領域棟の女性用トイレ・多目的トイレへの生理用品の配置を開始しています(非常用として備蓄し、使用期限が迫っていた分を充てています)。2023年4月からは、(株)花王「職場のロリエ」プロジェクトに参画した配置を予定しています。ご意見などは下記のフォームからお願いします。

<https://oni.bz/UFG9LkC>



Interview

インタビュー

大学院生インタビュー

All are different,
and all are great!



男女共同参画室
WEBサイトで連載中

さまざまなバックグラウンドをもつ学生
の声を聞き、共創コミュニティ宣言
の理念に沿った大学を目指します。

ロングインタビューはWEBサイトをご覧ください

https://www.naist.jp/gender/contents/message/student_interview/

vol.01

NAISTは誰しものが マジョリティにもマイノリティにも なり得る場所

NAISTは、様々な属性の構成員がいる組織です。誰しものがマジョリティにもマイノリティにもなり得ます。例えば、私の研究室のメンバーは、海外から来た学生が約半数を占めます。彼らは主に英語を使っており、研究室でのコミュニケーションは英語が主となります。日本人学生で英語が苦手な人はマイノリティにも成り得ます。私は、文系・女性という意味でマイノリティ、日本で生まれたという意味では、マジョリティとなります。全員の結果・機会平等を完璧に達成するのは難しいですが、ある策を実施する前と後でどの世代のどのジェンダーがどの程度有利・不利となるかなど、属性ごとの状況をインターセクショナルに把握することが必要と考えます。



情報科学領域 自然言語処理学研究室 博士前期課程1年
大羽 未悠



バイオサイエンス領域 RNA分子医科学研究室 博士後期課程1年
花井 悠真

vol.02

留学生は年齢や性別を 全く壁にしていない

海外の留学生は年齢や性別による固定観念に縛られていないと感じますね。年齢が上の方も結構いますが、自分の夢に突き進んでいます。留学生と話していて感じるのは、留学生は年齢や性別を全く壁にしていないということです。日本人の学生の大学院進学は、経済的な面だけではなく、世間一般に大学院がどれだけ認知されているか、また年齢や性別に付随する固定観念といった面にも壁があるのだと思います。



物質創成科学領域 物性情報物理学研究室 博士後期課程1年
Nimatil Mabarroh

vol.03

ミーティングと礼拝のどちらも きちんと行える

私はムスリムでNAISTではマイノリティです。私たちは日中に3回、1回につき約20分の礼拝をします。物質領域には研究棟の1階にお祈りのできる瞑想室があります。ただ、実験などに忙しいときには研究室から1階のフロアに降りてお祈りをする時間を確保できないことがあります。そこで、事務室に相談をし、研究室のフロアにある女性用ロッカールームを臨時的な祈祷室として使えるようにしていただきました。指導教授は、ミーティングの時間が礼拝の時間に重ならないように設定し、私がミーティングと礼拝への参加の2つをきちんと実行できるようにしてくれています。



【編集・発行】
奈良先端科学技術大学院大学
男女共同参画室

〒630-0192
奈良県生駒市高山町8916-5(けいはんな学研都市)事務局棟
TEL:0743-72-5137/5138 FAX:0743-72-6244
Email:sankaku-jimu@ad.naist.jp
URL:<https://www.naist.jp/gender/>

